

忌部っ子だより



秋本番

9月の長雨から一転し、10月に入ると天気の良い日が続き、さわやかな秋を感じることが多くなりました。そして、校地内でも色づく木々が見られるようにもなりました。秋は文化・芸術・スポーツ・食欲の秋などと言われ、何をするにも良い季節ですが、こどもたちも、日々の学習はもちろんですが、市小中学校連合音楽会、学習発表会や芸術鑑賞会に向けた活動など、充実した学校生活を送っています。

連合音楽会

10月1日（木）、松江市小中学校連合音楽会が行われました。本校からは4～6年生が参加し、合唱曲「マイバード」及び「見上げてごらん夜の星を」の2曲を発表しました。今年度は、県民会館が改修工事のため、会場がプラバホールとなり、例年どおりの合奏はできなくなりましたが、1学期から、各学年の音楽の時間に練習を重ねてきました。2学期になり、全体練習が始まり、みんなの気持ちを揃えていく活動を重ねることで、どんどん上達し、「自信」も重ねていくことができたと思います。

そして、本番当日。63名のこどもたちの声の迫力や重なり的美しさを感じることもできる素晴らしい発表を聴くことができました。会場からは、壮行演奏会の何倍もの拍手をいただき、積み重ねた「自信」がまた一つ大きくなったと思います。発表会後のこどもたちからは、何とも言えない満足感や達成感が伝わってきました。

今回の音楽会を通して感じることもできた、音楽の素晴らしさ、続けることや心を一つに合わせることの大切さ等を、こどもたちには、今後の学校生活に生かしてくれることを願っています。

なお、今週23日（金）に実施される学習発表会では、さらにブラッシュアップした今回の合唱2曲に加え、例年通りの合奏曲の発表をご覧ください。ぜひ、ご期待いただきたいと思います。



県大生来校

9月24・25日（木・金）の2日間、県立大学の学生さんが「現場体験活動」として来校されました。この活動は、県立大学と県立大学短期大学部、乃木小、忌部小、幼保園のぎが連携に関する協定を結んでおり、その一環として行われているもので、本校の特色ある活動の一つです。両日とも、20名程度の学生さんが来校され、割り振られた学級に4名程度ずつ行き、そこで、学習の様子を観たり、参加したり、休み時間は一緒に遊ぶなど、本校で一日を過ごしました。教師の言動やこどもの様子に直に触れることができるなど、学生さんにとって学びの多い一日になったようですが、本校のこどもたちにとっても、普段とはまた違う「ワクワク」した気持ちで学校生活を過ごすことができ、メリッットの大きい一日となりました。



出会いの様子

ふるさと忌部の「ひと・もの・こと」から学ぶ

この1ヶ月の間も多くの家庭や地域の皆様のご支援を受けながら、ふるさと忌部をはじめ地域の「ひと・もの・こと」から学ぶ機会がたくさんありました。ありがとうございました。

忌部郵便局さんのご厚意により、今年度も局内で「忌部小学校作品展示会」が開かれています。期間は、6年生が9月14日～10月2日、5年生が10月5日～10月16日に開催され、現在は、4年生が10月19日～10月30日、今後、3年生が11月16日～11月27日、2年生が11月31日～12月11日、1年生が12月14日～12月25日となっております。

自分の作品が展示されるとあって、こどもたちも作品作りに一段と精を出しています。機会がありましたら、多くの皆様に、こどもたちの力作をぜひご覧いただきたいと思っています。

（画像は4年生の作品）



6年生は、修学旅行での学びの後も、平和学習を続けています。10月4日（金）には、平和学習語り部ボランティアの須田英典先生のご指導のもと、広島に原爆が投下されたことと島根の関連性について、具体的な人物を例に学ぶことができました。須田先生との学習は計3回予定されており、第2回（11/13）は、島根の学童疎開の様子から戦争の時代に生きた人々のくらしとについて、第3回（11/20）は、出雲市の新川の海軍航空基地（大社基地）と戦争の様子について学ぶ予定にしています。

